

～可也はあったかいところ～

□■第3回学校運営協議会を開催■□

9月29日に第3回学校運営協議会を開催しました。今回は、学校運営協議会委員の皆様と学校職員と一緒に、「熟議」を行いました。

「熟議」とは、学校運営協議会委員の皆様と学校職員が、子供たちのよりよい成長や学校の課題について、お互いの考えを出し合いながら話し合うことです。学校・家庭・地域がそれぞれの立場から意見を出し合うことで、新しい気付きやよりよいアイデアが生まれます。

そこで、学習面(まなび)・生活面(こころ)・健康・体力面(からだ)について3つのグループに分かれて、熟議を行いました。

まなびプロジェクト 《家庭学習の充実のために》

家庭学習見直し週間での3項目の評価は、学年が上がるにつれて評価が下がっています。何のための宿題なのか、子供たちの意識を高めていく必要があります。また、お家の方と宿題について話す場を設けるなど、家庭と共有していくことが大切です。タブレットの課題には意欲的に取り組む子供も多いので、ICTを活用し、サイトを作ったり、音声データで提出したりする宿題を取り入れていくのも、効果がありそうです。



こころプロジェクト 《規範意識を育むために》

学校では、挨拶の必要性を伝えたり、足跡マークなど環境を作ったりするなど、いろいろな取組を行っています。しかし、最近、挨拶が返ってこないことがあります。

こちらが挨拶をしても、挨拶が返ってこないと残念ですね。そのためにも、大人の意識が大切です。怖い顔ではなく、笑顔で挨拶をして、手本を示していきたいです。子供たちだけの取組ではなく、挨拶が広がる可也校区にしていきたいですね。



からだプロジェクト 《体力向上をめざすために》

登下校中の子供たちの挨拶が広がるよう、地域での挨拶を大切にしていきたいですね。

遠足の候補地は、条件が合う場所を探すのはなかなか難しいですね。私は幣の浜に行っていました。新町支石墓郡(新町縄弥)は展示室もあり、おすすめです!



子供たちのために、学校・家庭・地域で話をする充実した時間となりました。今回の熟議でいただいたご意見を今後の学校運営に生かし、学校・家庭・地域が力を合わせて、子供たちの健やかな成長を支えていきたいと考えています。ご理解とご協力をよろしくお願いします。